

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	平成17年		
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	02 健やかで生き生きしたまちづくり
	小項目	施策	06 健康づくり
事務事業名	03	健康づくり推進協議会事業	
根拠法令・規程等	健康増進法・食育基本法 備前市健康づくり推進協議会条例		
問	担当課(室)	保健課	
合	職・氏名	健康係長・白髭由美子	
先	電話	64-1820	
このシート作成に要した時間			4.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	乳幼児期から高齢期までの市民
目的(何のために)	市民の健康の保持及び増進のために必要な対策の検討並びに総合保健計画の立案とその施策の推進を図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	健康づくり推進協議会で必要とされた施策を実施することにより、市民一人ひとりが主体的に健康づくりや食育に取り組み、総合保健計画(健康びぜん21、備前市食育推進計画)の目標が達成され、その結果市民の健康が増進する。

Plan

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	健康づくり推進協議会事業	健康づくり推進協議会を開催し、健康びぜん21計画に沿った保健事業の進捗状況をもとに、必要な対策や取り組みについて検討し、毎年の事業計画を作成する。平成20年度は健康びぜん21の中間見直し及び備前市食育推進計画の策定にあたった。目標年度である平成25年は次期計画策定の委員会を兼ねる予定。	

Do

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	事業費	千円	2,132	65	59
	必要人員	人	0.71人	0.26人	0.28人
	事業費計	千円	7,147	1,853	2,021
	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
財源	千円				
市債	千円				
その他()	千円				
一般財源	千円	7,147	1,853	2,021	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
結果指標	説明	会議開催回数	4.0	1.0	1.0
対前年比	%		-	25.0%	100.0%
活動コスト	円		7,147,000	1,853,000	2,021,000
単位当たりコスト	円		1,786,750	1,853,000	2,021,000

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
「健康びぜん21」ライフステージの重点目標(11項目)のうち前年度より達成目標に近づいた指標の数	目標値(A)	7	7	11	11
	実績値(B)	4	1	1	到達目標値
	達成率(B/A)	57.14%	14.29%	9.09%	11

成果指標設定の考え方・式や説明

「健康びぜん21」ライフステージの重点目標 ①過剰肥満の減少(乳幼児期) 朝食を毎日食べる人の増加・小学6年生・中学3年生(学童・思春期) 節目健診者数の増加(青・壮年期) BMI25以上の人の減少(中年期) 介護保険認定率の維持(高齢期) 朝食を毎日食べる人の増加・3歳6カ月児(食育推進計画) 年に一度、健診を受ける人の増加(中年期) 喫煙者の減少・男性・女性(青・壮年期) 週2日以上運動をしている人の増加(40歳代)のうち前年度より達成目標に近づいた指標の数()は平成22年度より「市民意識調査」に追加)

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	妥当性評価 <A-E> A
	必要性	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある	効率性評価 <A-E> C
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するため以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	有効性評価 <A-E> C
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	

が事業の目的、効果的性を評価するに留意しな目標

進行年度(H23年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	今年度は職域や食育に携わる委員を5名追加し、協議会を2回開催する。1回目は8月末に団体の計画について協議し、それに基づき年度末に検証する会議を開催する。条例第5条の規定に基づき、食育について、食育専門委員会を立ち上げ、9月に会議を開催する。						

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	
「市民意識調査」に健康づくりに関する項目を4項目追加し、係りにおいて、課題を共有して重点目標に取り組んだ。しかし、各団体の代表である委員に、組織として健康づくりに取り組んでもらいたいという主旨を十分に理解してもらえなかった。市民の健康づくり意識の向上にはつながらなかった(達成率1割弱)。来年度は委員が組織の意見や取り組みを発言できるように支援する中で、組織が積極的に参画し、連携して取り組める協議会にする必要がある。	評価区分 <A-E> C	妥当性	効率性

平成24年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	平成25年度の最終評価における目標値の達成に向けて、係り間で現状を把握し、取り組みを強化する必要性がある。また、平成23年度の協議会や食育専門委員会を開催した結果を踏まえ、組織の積極的な参画に向けた取り組みを検討していく。						

Action